

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

平成30年12月19日(水)

第20号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

夢の実現とは、日々の地味な努力の積み重ねによってもたらされるものに他ならない。(稲盛和夫)

◇学校行事、大会結果、イベント等

- ・高校ハンドボール九州選抜県予選大会結果(15日、16日準決勝、決勝戦)
女子の部：浦添商業 v s 那覇西 13-22で浦添商業を破り那覇西が4年ぶり13度目の頂点に立ちました。那覇西の堅守とチームワークが高い評価を受けました。いよいよ全国へ！
男子の部：コザ v s 那覇西 20-24でコザに準決勝で敗れてしまいました。リベンジです！しかし、さすが「チーム直樹」です。翌日の早朝6時から練習を開始していました！
- ・女子バレーボール那覇南部大会結果(12月15日・16日)：リーグ戦対首里東0-2で勝利、対豊見城2-0で敗戦、対那覇商0-2で勝利、対浦添2-0で敗戦、対陽明1-2で勝利 2部残留！
- ・女子サッカー那覇南部地区大会結果：那覇西3-0首里 那覇西2-0糸満 予選リーグ1位で24日の1位トーナメントに出場決定です。生徒が皆、燃えて頑張っています。(顧問喜久里先生)

●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか？

- ・沖縄タイムスに本校の図書委員活動が紹介されています。文武両道を推進する本校ならではの図書委員の活動や、展示コーナーにおける工夫等が詳しく紹介されています。本の魅力が多彩に発信されている本校の取り組みは本当にスバラゴですね！ぜひ図書館へGO！
- ・本校活性化に向けての部活動等派遣募金趣意書が地域、職員、PTA関係者に配布されました。
- ・1、2学期の勤怠状況を3年前(H28)と比較すると欠席延べ数では34%減、欠課延べ数で66%減、SHR遅刻延べ数で74%減といずれも大幅な減少となっています。改善状況は沖縄一ではないかという声が上がっています。
- ・連日セミナーハウス等で行われている受験対策授業は、「高い志」の実現を目指して全員一生懸命に取り組んでいます。監督の先生方との一体感も見事です。「静香丸」の航海に後悔はありません。

石川警察学校での講話(12月11日)

先月、本校の卒業生も毎年3名から5名入学する石川警察学校での講話の依頼を仲村智成校長(前豊見城警察署長)から受けていました。そこで12月11日に警察学校で、演題「遵法精神の確立に繋げる校則」-37年間の教職経験から見てきたもの-という講話をしてきました。石川の警察学校に入学したら1か月は自宅に帰れないそうで、卒業したある現職若手警察官に聞いたところ「二度と戻りたくない」ほど訓練が厳しいとのことでした。42名の警察官候補生は講義時間の80分間、それこそ瞬きもしないほど緊張で固まっていました。(私には宮古の宮古島まもる君に見えて仕方ありませんでした。チェスト!)学校と警察との連携の大切さを教育者としての経験をふんだんに織り交ぜながら話をさせていただきました。学校長のグランドデザインとして①学校は本物の人間を育てるための学び舎である。②校則の遵守を通して社会に出て法律をしっかりと守れる人間を育てていく。そのために学校では、学校行事、部活動、読書等を通して知を磨き、徳を積み、体を鍛える(知徳体)中で有為な人間を社会に送り出すことを経営の柱としている。しかしながら、生徒の実態は、①夢がない、欲がない、やる気もない生徒に限って根拠のない自信がある ②高い志を達成するための耐性に課題がある(ホップ・ステップ・肉離れの生徒が目立つ) ③完全とはいえない学校、地域、保護者、警察が互いに連携しないとイケない ④沖縄の目指すべき社会の姿とは? 一つは、本物の人物を見抜ける力をつけ、選挙における本県の投票率を日本一にしたい、二つ目に自己肯定感を日本一にしたい等を37年間の経験を交えながら「地元を誇りに思い、世界に羽ばたく」本県の人材を共に育成していきましょう、旨の話をさせていただきました。なお、新年が明けた1月には大学を卒業した警察官候補生への講話も帰り際にお願ひされました。那覇西OBの研修生は特に頑張っており、礼儀・挨拶・態度とも素晴らしいとのことでした。(仲村智成石川警察学校校長)

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)